

平成24年度事務事業評価シート(23年度実施事業分)

事業番号	07 03 02	中期総合計画主要施策番号	2-02	担当課	部・課	観光部観光振興課	
事業名	「未知を歩こう。信州2011」キャンペーン実施事業			内線	3540		
				E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H23 ~ H23	根拠法令等	「観光立県長野」再興計画				
実施方法	信州キャンペーン実行委員会への負担金					国庫・県単	県単独事業
事業の概要等	目的(必要性)	平成22年度の信州デスティネーションキャンペーン(信州DC)を一過性のものにするのではなく、信州DCを契機とした地域の取組みをさらに発展させ、「宿泊滞在型」、「県内周遊型」観光の推進を図るため、平成23年度においても全県的な観光キャンペーンを実施する。					
	対象	観光旅行者					
	目指すべき姿	観光旅行者が繰返し訪れ、長期滞在を楽しむことができる「宿泊滞在型」、「県内周遊型」を目指す。					
	事業内容	・「未知」「歩く」「食」「おもてなし」をキーワードに、信州DCでの成果と反省を踏まえ、取組みの重点化と充実を図る。 ・県、県観光協会、市町村、関係団体が実施する事業、イベントとの連携をさらに進める。 ・県民向けのPRを強化し、県内流動を促進する。 ・宿泊に結び付く取組みを強化する。 ・メディアとの連携を強化し、効果的な情報発信を行う。 ・キャンペーン期間 9月16日～12月31日					
事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・負担金:15,000千円(信州キャンペーン実行委員会)
	最終予算額 (A)		千円		15,000		
	決算額 (B)		千円		15,000		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円		15,000		
	概算人件費	従事する職員数	人		2.00		
		概算人件費 (C)	千円	0	16,516	0	
概算事業費 (B(H24はA)+C)		千円	0	31,516	0		
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・キャンペーン公式ガイドブック・ポスターの制作 ・専用ホームページの開設 ・特別企画(ウォーキングラリー、食の祭典)の開催 ・PRイベントの開催 ・新聞、雑誌等での情報発信 ・旅行商品の造成(効率指標 算出式) 負担金/観光地利用者の増加数
	観光地利用者数の伸び率(成)		%		103.9		
	観光地利用者の増加数(対前年同期比)(成)		千人		678		
	観光消費額の伸び率(成)		%		101.6		
	観光旅行者の満足度(成)		%		63.7		
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 観光地利用者の増加数		円/人		22.1		
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	・キャンペーン期間中の観光客数及び観光消費額を前年比増とするとともに、期間中に訪れた観光客の75%以上の方に満足いただく。			・期間中の観光地利用者数は前年比3.9%増、観光消費額は前年比1.6%増であり、一定の成果があったものと認められる。 ・観光客満足度は63.7%で目標の75%には届かなかったものの、各地でもおもてなしの気運が醸成され取組みも実践された。			b 期待どおり
事業の課題	区分		判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	完了	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)		平成22年度のDCや、昨年の本事業によるキャンペーンを一過性のイベントに終らせることなく、各観光地域の取組みをさらに発展させるとともに、日帰り客の割合が増加傾向にある中、地域への経済効果を高めるよう「宿泊滞在型」、「県内周遊型」観光の進展をさせ、観光消費額の向上に向けた取組みを進める必要がある。 平成24年度は、年間を通じて四季毎にテーマを設定した全県的な誘客キャンペーンを実施し、観光需要の回復・拡大を目指す。(信州四季旅特別キャンペーン)				
	特記事項						